



## 肛門手術を受けられる患者様へ

( )様は、( )月( )日( )曜日の手術予定です。

主治医：\_\_\_\_\_

	入院当日まで(外来) / ( )	入院当日・手術前 / ( )	入院当日・手術後 / ( )	手術後・1日目 / ( )
目標	入院の目的を理解し、手術の受け入れができる。	手術に向けて精神的、身体的に準備ができ、安全に手術室へ移動できる。 安心して手術が受けられ、術後・出血・痛みを最小限にできる。 苦痛の緩和ができ、スムーズに離床できる。		麻酔による副作用を起こさない。 創部の感染を起こさない。
検査・処置	血液検査 心電図・肺機能 胸部・腰部レントゲン検査 ※必要時：心エコー検査  ☆手術前日：14時に浣腸していただきます。	患者間違え防止のため手首にネームバンドをつけます。 手術衣に着替えてもらい、9時から点滴注射をゆっくり始めます。  手術室入室前に排尿を済ませ、歩いて入室します。 ※義歯・眼鏡・コンタクトレンズ・指輪・時計・マニキュアなど、外していただきます。	手術終了後、ベッドで帰室します。 帰室直後より検温を行ない麻酔からの回復、出血の有無を確認します。  手術後、歩行、排尿の確認をさせていただきます。  手術後点滴が終了したら、抜針です	翌日、外来受診してください。  1週間後、採血検査します。
安静と清潔	自由です。 入院前日、入浴かシャワー浴を済ませてください。	病棟内の歩行ができます。	手術後、麻酔から回復すれば、初回、看護師が付き添い歩行し問題なければ、以後、病棟内歩行可です。	シャワーできます。 以後、外来受診後、入浴許可となります。
薬剤師	普段から内服しているくすりについて教えてください。(薬剤師確認) <b>抗血小板・抗凝固剤を服用中の方は休薬が必要です。</b> 手術前日、14時に緩下剤を服用します。 外来より処方されるくすりがあります。 ※入院時、持参する薬あります。	手術当日の朝、内服薬のある方は、( )時まで内服してください。 ※事前に外来で説明します。	手術後、内服薬と外用薬が処方されます。  薬剤師からの退院後の服薬指導があります。	手術翌日より、1日2回、肛門より注入するくすりがあります。
説明・指導 その他	医師から手術と麻酔について説明、(※ご家族も同伴でお願いします)その後、同意書をお渡しします。記入した後、看護師がお預かりします。	病棟案内と手術準備品の確認をします。 ※ご家族の方は手術が開始されたら、部屋か談話室でお待ちください。 	手術終了後、医師からご家族の方に結果説明があります。 夕方、医師が診察し、当日あるいは翌日退院決定します。 <b>退院後・指導</b> シャワーやウォシュレット洗浄で創部を清潔に保ちましょう。 長時間、椅子に座ったり、同一体位で肛門を圧迫することは避けてください。 便秘や下痢にならないように排便習慣をつけましょう。 2週間くらいは激しい運動を控えてください。 	
食事	夕食まで食べてください。	手術終了まで絶食です。	手術後、看護師が飲水確認します。 終了時間により、昼食か夕食が開始されます。	アルコール類や刺激物は3週間程度控えるようにしてください。

上記内容について説明を受けました。署名：\_\_\_\_\_

説明看護師：\_\_\_\_\_

医療法人 福慈会 福外科病院 平成27年4月15日 作成